

科目名	ビジネス・モデリング（プロセス・モデリング／データ・モデリング）
担当講師	三輪一郎、高橋永哲
分類	選択
授業時間数（時間）	15.0
授業形態	対面型式（チーム演習あり）
授業の概要	あいまいに理解されやすい「企業の情報システム」を「業務の仕組み」として捉え、これをコンピュータの支援を受けて成立させることを想定した際に有用なモデリングの手法（プロセス・モデリング手法、データ・モデリング手法）を習得する。
特色とメリット	プロセス・モデルでは「粒度と階層」に着目し、データ・モデルでは「概念データモデル」に着目する。 単眼のモデル化だけでなく、「プロセス×データ」、「プロセス×組織」、「データ×組織」といった複眼的な着想にも注目する。 併せて、Agile型開発への応用ポイントを学ぶ。 実案件に基づくケースを課題としたチーム演習を取り入れ、受講者同士の知識・スキルの交換も誘導する。
学習目標	以下を理解・習得する。 情報システムとは何か：ビジネス・システムとコンピュータ・システムの関係 組織／情報／データ／システムの関係 情報化の工程（ビジネス戦略分析、情報化企画、業務とシステムの設計、構築と運用） プロセス・モデルとデータ・モデルの関係 プロセス・モデリング手法／データ・モデリング手法、Agile型アプローチへの応用例
内容	1日目 ・モデルとは何か：情報システムのモデル化の3本柱（組織／プロセス／データ） ・IRMモデル（情報システムのメタ構造）とモデリング手法の関係 ・情報システムのモデルと情報システム構築手順の概念モデル：論／物×現／新マトリクス ・プロセス・モデリングの代表的な図法：BPMN、IDEF0、業務フロー、UML2.0 ・プロセス・モデリング手法解説、プロセス・モデリング小演習  2日目 ・データモデリングの代表的な図法：E-R図、IDEF1X、THモデル、クラス図、その他の手法 ・データ・モデリング手法の解説、データ・モデリングの小演習 ・組織×プロセス、組織×データなど、観点の重要性 ・Agile開発を想定した応用型ビジネスモデリングのポイント
受講の前提条件	数年以上の一般的なビジネス経験（IS部門経験は問わない）、情報システムへの強い関心
事前学習	特になし
事後学習	
参考文献・オンライン科目	『データ経営が日本を変える！』JUASシステム高度化研究会(編)、JUAS(2022) 『はじめての上流工程をやり抜くための本』三輪一郎、翔泳社（2008） ※SLCP-JCF2013、BABOK 3.0、DMBOK 2.0、UML2.0